

研究課題名	カプセル内視鏡とダブルバルーン内視鏡の検査間隔が小腸出血源検出率に与える影響についての検討
研究期間	2025 年 9 月 25 日 ～ 2030 年 3 月 31 日
研究の対象	2014 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の間に、広島大学病院で小腸出血疑い (suspected small bowel bleeding SSBB) に対してカプセル内視鏡検査 (CE) とダブルバルーン内視鏡検査 (DBE) を施行された方。
研究の目的・方法	目的：SSBB 診療において、CE と DBE の検査間隔が出血源検出率に与える影響についての報告は少ないです。今回 CE で活動性出血を認め、DBE を施行するまでの期間(CE-DBE 期間) 別にみた出血源検出率について検討することを目的としています。 方法：本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：過去の診療情報（カルテ）より年齢、性別、主訴、既往歴、血液検査値、画像所見、輸血歴の有無、顕性出血の有無、内視鏡検査歴、CE 所見、DBE 所見、CE-DBE 期間、内視鏡診断、DBE での出血源検出率、再出血の有無、再出血までの期間である。のデータを収集して解析を行います。 情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学教授 岡 志郎
利用または提供を開始する予定日	2025 年 9 月 25 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎
その他	—
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や

	研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。
--	--

広島大学病院 医系科学研究科消化器内科学

担当者：壺井章克

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5193